

都市機構ワングル同好会

渡り鳥通信

UR-WV No. 910 号: 平成 25 年 4 月 15 日



□ 3 月々例 Wanderung 報告

40 周年記念事業「MT.VICTORIA PROJECT」

ミャンマー・ビクトリア山・第 1 次調査登山

「飯能の登山道づくりの次はミャンマーの山小屋づくり」と呼びかけていましたが、龍崖山公園が完成し、飯能の地区の事業完了記念式典が行われた 3 月 24 日の翌日に出発するというめぐり合わせになりました。山小屋づくりは時間がかかりそう

なので息子二人を同行させたら、江頭さんにはお孫さん二人が随行、記念事業にふさわしい 多世代プロジェクトを予感させるスタートになりました。

日程 ; 2013 年 3 月 25 日(月)~31 日(日)

メンバー ; 室井+3(惟知・斐呂・伊斗子)

江頭+2(一馬・猪川光太郎)

コースタイム ;

3/25 13:55 発の大韓航空で成田発、ソウル(仁川)経由でヤンゴン着 22:45 日本とミャンマーは時差 2 時間半なので現地時間では 26 日 1:15 ホテルで仮眠 (以下現地時間で表示)

3/26 4:30 ホテル発 6:30 発のヤンゴン航空の国内便でバガン(ニャンウー空港)着 8:00 バジェロの中古車 3 台に分乗し陸路(ほとんど悪路)8 時間の旅チン州へ向かう。カンペレッ村とのほぼ中間点にあるマグエ管区アイジー村の食堂で昼食。我々のビクトリア登山のベースであるカンペレッ村のパインウッドビラ着 16:00 自家発電の電灯は 10 時消灯



3/27 7:30 朝食 カンペレッ村の生活調査担当の室井Iを除く、メンバー6名とガイドのウィメンティさん ナマタン国立公園事務所スタッフの総勢8名が8:00 バジェロで出発。登山口でジャイカの草の根技術協力のリーダーとして2年間に亘って現地で薬用ランや蒟蒻の栽培を村人に教えてきたアースウォッチジャパンの安田重雄さんと会う。ウィメンティさんも草の根技術協力のスタッフの一人。国立公園の中に山の頂上付近を抜ける車の道が最近造られてしまい、その調査に来られていたが、さらに奥にある集落への生活路でもあり難しい問題とのこと。9:45 歩行開始 バゴダのある頂上着 11:45。昼食。すぐ近くに三角点のような石がある見晴らしピークがあり、冒頭の写真は三角点ピークから見たバゴダピーク。日本の3000m級とは全く違う雰囲気。10018ft、3109mの標高が印された二枚の地図があり計算が合わない。フィート標示を信用して取りあえず控えめに3053mかな? 車の道が出来たおかげ?で、中国製のバイクで山頂に来て楽しんでいる若者たち。13:00 三角点頂上発。登山口着 14:20
3/28 9:00 カンペレッ発 再び8時間の悪路の旅でバガンへ チン州の外国人規制も急速な民主化で3月末で解除され、我々は手続きをして訪れた最終グループだったかも。バガン着 16:00 ロッジ風のホテルでゆっくり休養。



3/29 この日は一日バガン観光。写真はイラワジ川に沈む夕日を眺めようと皆が登るシュエサンドバヤーからのオールドバガンの遺跡群バゴダ。

3/30 8:55 バガン発。ヤンゴン着 10:15 有名な黄金のシェダゴンバヤーなどミニ観光の後、ヤンゴン空港近くでの最後の晚餐。朝倉・阿久津製作の「ワングル小旗」贈呈式。左端はガイドのウィメンティさん、中央左は学生時代に二度ビクトリア山に登った経験があり、今回一緒に登る予定が仕事で叶わなかった日本ミャンマー協会ヤンゴン事務所のティセインさん どちらも「ビクトリア山プロジェクト」の強力な助っ人です。お二人にはワングル初の外国人会員になってもらいました。

3/31 0:15 ヤンゴン発 成田着日本時間 11:30 (報告; 室井)

PJ 推進メンバー募集中。行動計画等今後の「渡り鳥通信」でご案内します。

